

関西大学大学院商学研究科へ進学を希望する方へ

関西大学大学院商学研究科に進学するにあたって、入学までに最低限理解しておいて欲しいと思われる内容が含まれる、基本的な図書等の一例を下記のとおり紹介します。進学準備に際して参考にしてください。

【商学】

- 1 大阪市立大学編（2002）『ビジネス・エッセンシャルズ⑤流通』有斐閣
*商業学・流通論全般についてわかりやすく紹介している基本書です。
- 2 和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦（2016）『マーケティング戦略（第5版）』有斐閣アルマ
*マーケティング論全般についてわかりやすく紹介している基本書です。
- 3 矢作敏行（2007）『小売国際化プロセス—理論とケースで考える』有斐閣
*小売業の国際化についてわかりやすく紹介している基本書です。
- 4 青木幸弘・新倉貴士・佐々木壮太郎・松下光司編（2012）『消費者行動論』有斐閣アルマ
*消費者行動と広告効果に関するテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 5 齋藤実・矢野裕児・林克彦（2009）『現代ロジスティクス論—基礎理論から経営課題まで』中央経済社
*ロジスティクスを体系的に理解できるようわかりやすく紹介している基本書です。

【経営学】

- 1 「よくわかる現代経営」編集委員会編（2017）『よくわかる現代経営（第5版）』ミネルヴァ書房
*商学部マネジメント専修の教員が、各自の教育担当分野の基本についてわかりやすく紹介している本です。
- 2 井原久光（2008）『テキスト経営学 基礎から最新の理論まで（第3版）』ミネルヴァ書房
*経営学の基本について幅広く触れられています。
- 3 伊丹敬之・加護野忠男（2003）『ゼミナール経営学入門（第3版）』日本経済新聞出版社
*経営学の出題テーマのいくつかについて根本から理解したい時に参考になります。

【経済学】

- 1 マンキュー, N. G. 著/足立英之ほか訳（2013）『マンキュー経済学 I ミクロ編（第3版）』東洋経済新報社、第4章～第20章
*基本的なミクロ経済学の教科書なので、精読することを勧めます。

- マンキュー, N. G. 著/足立英之ほか訳 (2014)
『マンキュー経済学Ⅱ マクロ編 (第3版)』東洋経済新報社、第5章～第18章
* 基本的なマクロ経済学の教科書ですが、最新のトピックスも扱っています。

【会計学】

- 笹倉淳史・水野一郎編著 (2019) 『アカウンティング：現代会計入門 (6訂版)』
同文館出版
* 商学部会計専修の教員が、各自の教育担当分野の基本についてわかりやすく紹介している本であり、進学を希望する人には必ず理解しておいてもらいたい内容になります。
- 桜井久勝『財務会計講義 (最新版)』中央経済社
* 財務会計の定番となっているテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 廣本敏郎・挽文子 (2015) 『原価計算論 (第3版)』中央経済社
* 管理会計・原価計算の定番となっているテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 盛田良久・百合野正博・朴大栄編著 (2017) 『はじめてまなぶ監査論』中央経済社
* 監査の全体像および監査制度をわかりやすく解説している基本書です。

【統計学】

- 統計検定 : <http://www.toukei-kentei.jp/>
- 品質管理検定 : <https://www.jsa.or.jp/qc/>
* 「統計検定」(一般財団法人統計質保証推進協会が実施)の2級、「品質管理検定」(一般財団法人日本規格協会が実施)の2級に準拠のため、これらの出題範囲、レベル等を参照してください。なお、これら検定のいずれかの2級以上の合格者に関しては、専門科目試験が免除されます(詳細については、学生募集要項を参照のこと)。

【税制論】

- 増井良啓 (2018) 『租税法入門 (第2版)』有斐閣
- 中里実・弘中聡浩・瀧圭吾・伊藤剛志・吉村政穂編 (2018) 『租税法概説 (第3版)』
有斐閣
- 金子宏・清永敬次・宮谷俊胤・畠山武道 (2016) 『税法入門 (第7版)』
有斐閣
* 1から3は、いずれも税制を法的視点から学ぶための基本書です。
- 増井良啓・宮崎裕子 (2015) 『国際租税法 (第3版)』東京大学出版会
* 国際課税の基本書です。

以上